

第206回
愛知学院大学モーニングセミナー

「権藤・権藤・雨・権藤
による野球今昔！」

野球解説者 元中日ドラゴンズ投手

権藤 博 氏

2023年5月9日

連投に次ぐ連投の活躍から「権藤、権藤、雨、権藤」といわれた最強の投手

社規人野球のブリジストンタイヤから中日ドラゴンズに入団した1961年、権藤が記録した投球回数429回1/3は2リーグ制以降、今も残るプロ野球レコードである。この年の規定投球回は130回で、実にその3倍以上を投げたことになる。

通算210試合登板、82勝60敗、667奪三振、防御率2.69／通算483試合、1041打数、214安打、18本塁打、85打点、打率.206

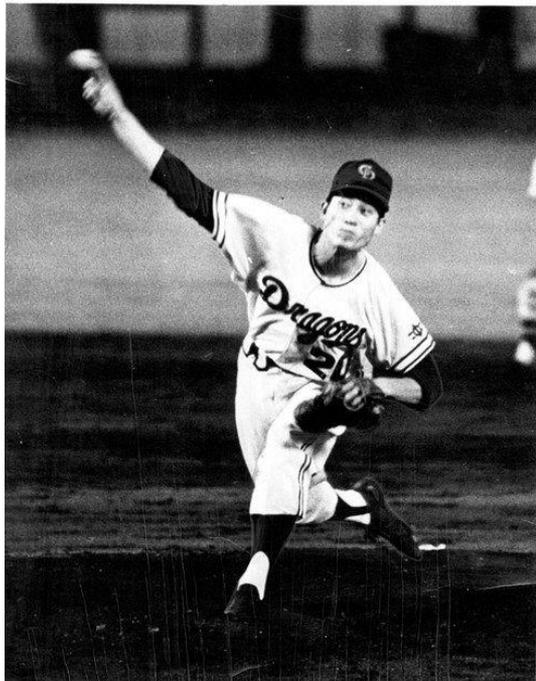
権藤の有名なキャッチフレーズ「権藤、権藤、雨、権藤」には、チームを一人で支えた悲壮感が漂う。それもそのはず、このフレーズの生みの親は、同年中日と最後まで優勝を争った巨人のエース・堀本律雄。7月の中日戦を前に、相手の先発が権藤という情報を聞いた堀本が記者に「中日の投手は権藤しかおらんのか、つぶれてしまうぞ。「権藤、権藤、雨、権藤や」と呆れながら語ったのがきっかけだという（ベースボール・マガジン社『ベースボールマガジン』2013年9月号）。この発言は決して誇張ではない。事実、7月上旬の中日の先発投手を見ると、7月5日から権藤、雨、移動日、権藤、雨、移動日、権藤、雨、雨、移動日、権藤で、15日までの11日間で先発投手は権藤のみ。さらに同年は、先発だけでなく中継ぎと抑えでも25試合に登板し、ダブルヘッダーの1試合目に先発して完投、2試合目はリードした5回からロングリリーフという起用もあった。入団した1961年に権藤博は、セ・リーグ史上最強の新人として最多勝、最が優秀防御率、最多奪三振、新人王、沢村賞、ベストナインを獲得した。

一方、パ・リーグではこの年に権藤投手が最も尊敬している西鉄ライオンズの稲尾投手がシーズン42勝を記録した。

中日に8年在籍し、引退後、中日、近鉄、ダイエーの3球団で投手コーチを歴任し、97年横浜のバッテリーコーチを経て、98年監督に就任。“マシンガン打線”と呼ばれる切れ目のない強力な攻撃陣と、盤石な分業制の投手陣をまとめあげ、チームを38年ぶりのリーグ優勝、日本一に導いた。2016年1月28日に「侍ジャパン強化試合 日本 vs 台湾」の日本代表投手コーチを務めることが発表され^[39]、2017年度WBCでも日本代表の投手コーチを務めた。



中日ドラゴンズ入団 権藤 博投手
背番号20 1961年
「権藤ゴンドウ雨、ゴンドウ」で活躍



デビューの年35勝 1961年

9:15 WBC 投手陣を支える“権藤コーチの教え”
78歳チーム最年長のサムライ

権藤 博 投手コーチ (78歳)

1938年生まれ 佐賀県 鳥栖市出身
ブリヂストンタイヤ(社会人野球)を経て
1961年 22歳で中日ドラゴンズ入団

1年目 35勝 19敗
最多勝利・新人王・ベストナイン
沢村賞・最優秀防御率・最多奪三振

2年目 30勝 17敗
3年目 10勝 17敗 4年目 6勝
通算 82勝 60敗

1969年 31歳で現役引退
その後、米フロリダ教育リーグでコーチを経て
中日・近鉄・タイガー・横浜で投手コーチを務める

先発・中継ぎ・抑えの分業制を確立
1998年 横浜監督就任 日本一に

権藤 博 選手の略歴

19 WBC 投手陣を支える“権藤コーチの教え”
78歳チーム最年長のサムライ

権藤 博 コーチの“3つの教え”

教えすぎるな
部下を管理するな
結果を求めすぎるな

侍ジャパン 投手コーチとして
3つの教え 2017年



横浜ベイスターズ監督 背番号72
38年ぶりの日本一 1998年



侍ジャパン投手コーチ
背番号72 2017年